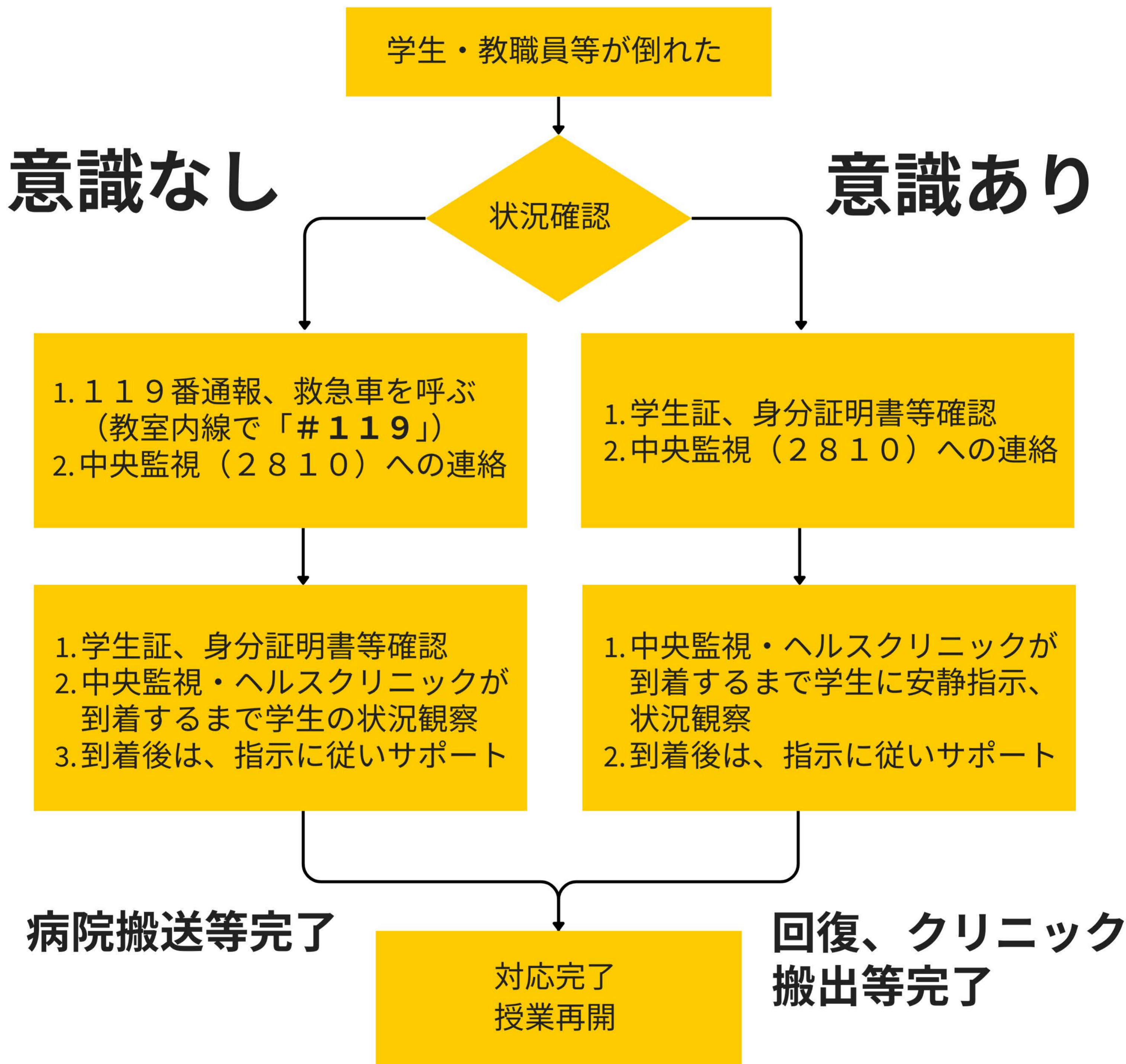




学生・教職員等が倒れた際の対応フロー



学生・教職員等の生命を守るためのご依頼

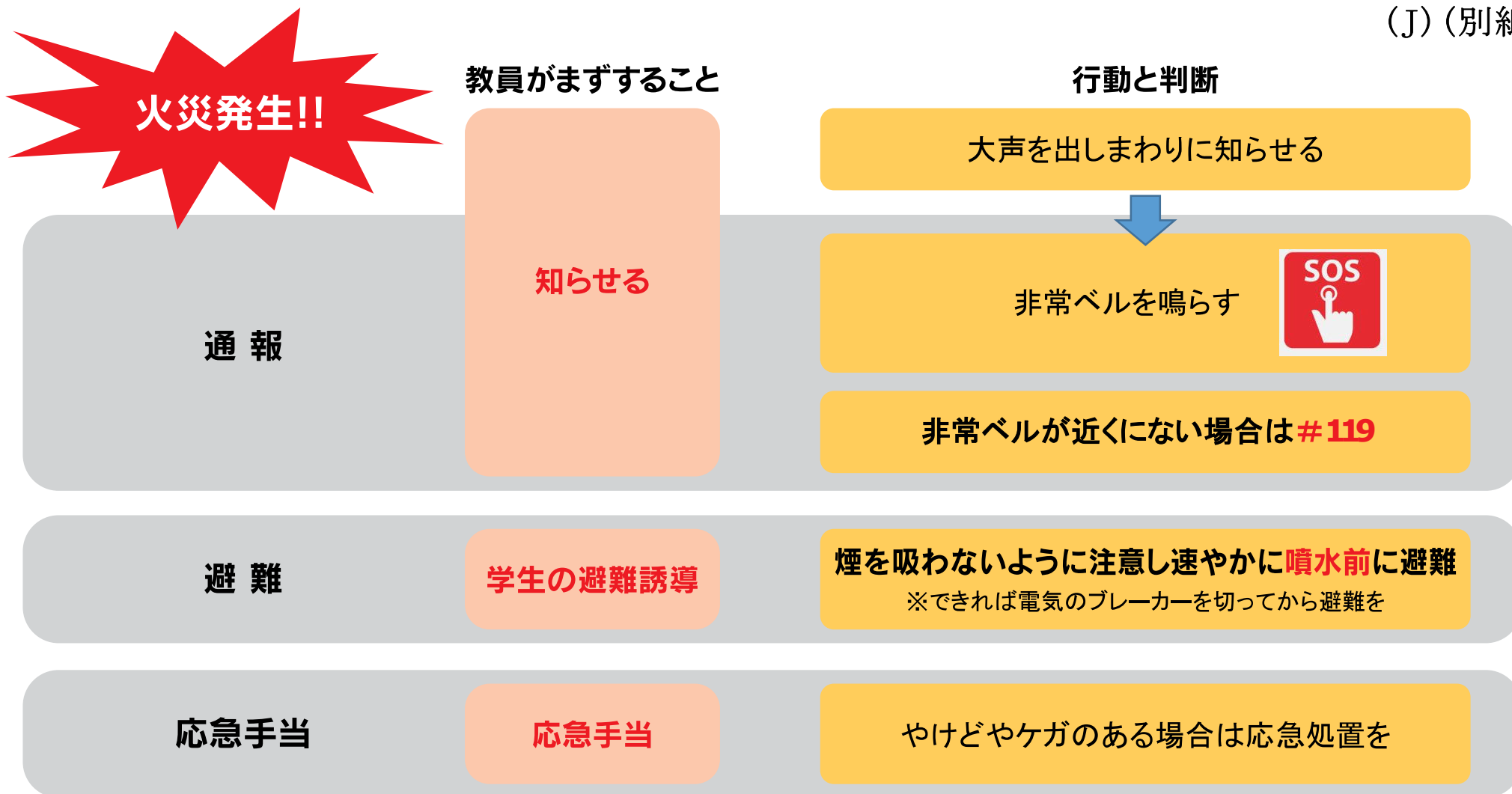
- 仰向けに倒れている場合、窒息の危険があるため横向けにしてください。
- 心臓が停止している場合、AEDを起動し心肺蘇生法を実施してください。



避難時の注意点

避難する時には余震に注意しながら、周囲の人の安全をおびやかさないように落ち着いて行動すること。

- 室内ではガラス等に注意しつつ、壁づたいに歩き、廊下は中央を通る。
- 避難時は必ず階段を使うこと。エレベーターは使わないこと。
- できればまずドアを開ける。負傷者や身障者を優先し、手助けをしながら避難する。
- 誰も残っていないことをしっかり確認し、ドアは開けたままにしておく。但し、火災が発生している場合はその部屋のドアを閉める。



避難時の注意点

- 安全な避難のポイント⇒「押すな・走るな・しゃべるな・戻るな」
- もしも煙に巻かれたら⇒タオルなどを口と鼻にあて、床面に顔を近づけ脱出。呼吸は鼻から吸って口から出す。